

はちまにか

2021年3月12日

桜井谷小学校

5年図工通信 第9号

発行者：

～漢字で木版画～

5年生としての図工の授業が今日で終わりました。5年生最後の作品は木版画でした。一人ひとり、選んだ漢字とその字に関連する絵を版画にしました。下描きもかなりの出来栄えだったのですが、それ以上に彫刻刀の扱いが上手で感心しました。「持ち方」「角度」「速さ」のコツを掴むと、鉛筆の線をなぞるようにすいすいと彫っていく姿が多く見られました。素敵な作品をつくってほしい願いがありますが、それ以上に「安全」に気をつけて作業を進めていくことが1番の目標でした。最初の内は、恐る恐る慎重に彫っていた子も慣れてくると気が緩みケガをしてしまった子も数名いましたが、どのクラスでも大きなケガをすることなく学習を終えることができて一安心です。

漢字の版画なので、「田」や「月」のように隙間のある文字や横画と縦画が交差するところがある文字を選んだ子は、どこを彫ってどこを彫らないのかをよく考えて彫り進めないと文字のパーツが欠けてしまいます。また、周りに描いた絵が細かい人は彫刻刀を小刻みに動かさないと絵がつぶれてしまいます。地道な作業に心が折れそうになっている子もいましたが、無事彫る作業は終了！

いよいよ刷る段階に入ります。赤系と青系の2種類から好きな色を選びローラーを転がします。バレンでしっかり擦った後には、刷り上がった美しいグラデーションをした作品とのご対面。

漢字を浮かび上がらせるために彫った、周りの模様にもいい感じにインクがついていて、それぞれ唯一無二の作品が完成しました。最初に刷る子に一連の流れを伝授した後は、子どもたち同士で伝言ゲームのように方法を教えていきます。奉書紙を木の板とズれないようにセットする係、ローラーの動かし方を教える係、バレンの動かし方を教える係、紙をめくる時のペアなど……刷り終わった人がまだの人のために活躍してくれました。子どもたち同士で教え合いながら楽しく協力して作品作りをする姿が見られてとっても嬉しかったです。



6年生なっても、楽しく図工の時間を過ごしてくれると嬉しいです。1年間、持ち物や道具の持参にご協力いただき本当にありがとうございました。

